

2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】※1
大場 浩正
(おおば ひろまさ)
hohba@juen.ac.jp

英語教育学を担当。英語科における「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指した指導と評価の開発において、逆向き設計、協同学習及びフアンリテーション技術に基づく授業をデザインし、その実践を行っている。また、探索的実践やプロジェクト学習に基づく英語教員養成も実践・研究している。元高等学校英語教員・元本学附属小学校長。



【教授】
野地 美幸
(のち みゆき)
miyuki@juen.ac.jp

英語学、第二言語習得を担当。近年は第二言語学習者の機能範疇や wh 疑問文の習得を研究している。大学院の授業では、主として英文法指導、英語の教科内容とテスト問題作成に関わる部分に関心を持って取り組んでいる。『英語正誤辞典』(研究社)の分担執筆等。



【准教授】
橋本 大樹
(はしもと だいき)
daiki@juen.ac.jp

英語音声学、英語学を担当。PhD (Linguistics)。音声産出・音声知覚を観察することで、どのように心の中で音声記憶・処理されているかを研究している。大学院の授業では英語の音声体系・発音の仕組みについて理論と実践を交えた授業を行う。著書：『英語音声学を紐解く―音声学の基礎から理論まで―』(単著、開拓社、2026) 等。



【准教授】
BROWN, Ivan B.
(ブラウン, アイヴァン)
brown@juen.ac.jp

異文化間コミュニケーション能力の育成に焦点をあてた英語教育を担当。日英米豪の大学・学校間の異文化交流教育活動での指導経験を活かし、教室内外におけるインタラクションの検証を通して、英語コミュニケーションにおける「主体的・対話的で深い学び」の観点からの実践の指導を行う。



【准教授】
渡邊 政寿
(わたなべ まさとし)
masatosi@juen.ac.jp

英語教育学を担当。高校生の教室内英語多読が、作文力へ及ぼす効果を量的、及び質的に検証している。読解、多読、及び作文のプロセスがどのようなものであるのか、それらがどのように融合して、成果をもたらしているのかの仮説を立て、その検証を試みている。元高等学校英語教員。



【講師】
サルバシオン 有紀
(さるばし むき)
salvacion@juen.ac.jp

英語教育学を担当。「協同的な英語リーディング活動」を開発し、高校生を対象とした実践を通じて、活動の効果を量的・質的に検証している。また、小グループ内での対話を通じて、個々の学習者がそれぞれの学びを深めるプロセスを明らかにしようと試みている。元中学校・高等学校英語教員。

